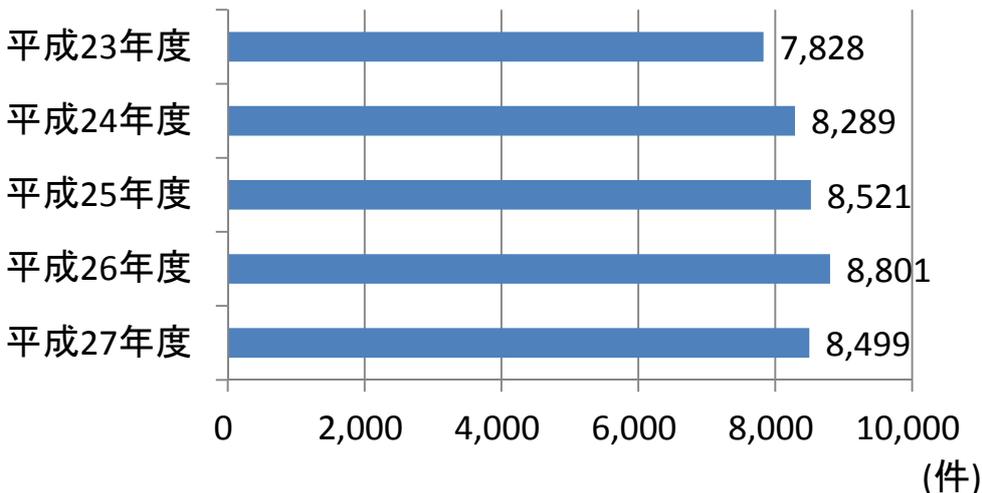




9 全手術件数

解説	<p>国立大学病院は急性期医療の要であり，外科治療の力が問われます。その一つの指標として，手術件数を指標とします。</p> <p>外科医，麻酔科医，看護師，手術室等のリソースは有限ですが，限られたスタッフと場所で効率的な運用をし，いかに手術件数を確保できるかが重要となります。手術スタッフ，設備，手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。</p>												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>手術件数 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成23年度</td><td>7,828</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>8,289</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>8,521</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>8,801</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>8,499</td></tr></tbody></table>	年度	手術件数 (件)	平成23年度	7,828	平成24年度	8,289	平成25年度	8,521	平成26年度	8,801	平成27年度	8,499
年度	手術件数 (件)												
平成23年度	7,828												
平成24年度	8,289												
平成25年度	8,521												
平成26年度	8,801												
平成27年度	8,499												
定義	<p>手術室で行われたK920(輸血)以外の手術(Kコードに限る)の件数です。ただし複数術野の手術等，一手術で複数のKコードを持つ場合も合わせて1件とします。(医事算定を用いて算出。)</p>												

※本院独自の指標